

2019年度 上期

2020年10月3日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人仙台先進学習サポート	
代表者名	代表理事 岡部香織	
連絡先 TEL: 022-797-8821 FAX:	E-mail sendaiadvancedlearning@gmail.com	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	家庭学習相談会・各講習会
事業の目的	戦後70年を過ぎ、社会階層の固定化が指摘されて久しい。このことにより、学生本人の学業への意欲とは無関係に家庭の経済環境がそのまま学業に反映してしまう結果となっている。加えて、2011年の震災による遺児などには高等教育を受ける機会すら逸してしまっている。本来、学業の機会均等であるべきであり、社会的地位の獲得は家庭環境に無関係な学業成果に基づくべきである。この開かれた教育システムこそが我が国の戦後経済発展の源泉であった。本社団法人では、そのメカニズムを取り戻し、学生本人が社会において、納得し、かつ活躍が出来る場を見つけようサポートする。
事業の具体的内容	家庭学習相談会（月1回） 学習に関する悩みを持つお子様、保護者様へのカウンセリング 中学生・高校生数学英語講習（月1回3時間） 各学年ごとの授業形式での講習会 中学生・高校生長期休暇中講習（年5回各3日間） 春期・ゴールデンウィーク・夏期・秋期・冬期休暇中に行う各学年ごとの授業形式での講習会
活動の開始から完了までの流れ	家庭学習相談会開催日 10月5日

	11月9日 12月7日 1月12日 1月18日 7月26日 中学生、高校生数学英語講習会開催日 10月5日 11月9日 12月7日 1月18日 2月1日 5月16日（遠隔授業） 5月23日（遠隔授業） 6月6日（遠隔授業） 7月4日 長期休暇中講習会開催日 11月3～4日（秋期） 1月12～13日（冬期） 7月25～26日（夏期①） 8月22～23日（夏期②）
活動の成果と教訓	家庭学習相談会では保護者と面談し、学習のアドバイスをすることによって保護者からは学習へのかかわり方を知ることができたと大変喜ばれた。各講習会では子供たちに数学と英語の講習を行っていたがコロナウイルス流行の影響で対面授業を中止せざるを得なくなった。家庭での学習を進めてもらえるよう各家庭にプリントを送付して添削する活動を続けた。5月からはパソコンを使い遠隔の講習を再開した。7月にはウイルス感染予防をしながら対面授業を開始した。子供たち及び保護者との信頼関係を作り、家庭でのプリント学習と講習へ参加してもらうことが重要であると考えた。
今後の展望など	家庭学習に悩む保護者に寄り添い、家庭学習によって学力向上できるようサポートしていきたい。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	150,000	
自己資金	1,752	
合計	151,752	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
家庭学習相談会	会場費 12回	29,000	7,910
中学生・高校生講習会 会場費	会場費 12回	29,000	11,370
長期休暇中講習会 会場費	会場費	36,000	14,820
家庭学習相談会各講習	プリント制作費 (コピー用紙、トナー等)	60,000	117,652
合計		154,000	151,752

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

対面での講習がコロナウイルスのためにできなかったため各会場費の予算を各家庭に配布するプリント作成費として支出した。(なおプリント送付のための郵送料は自己資金からの支出なので含まれない。)

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

一般社団法人仙台先進学習サポート

こんにちは

仙台先進学習サポートです

戦後70年が過ぎ、社会の二極化が進んできています。この二極化した家庭環境による小中高生の学業に及ぼす影響が顕在化してきています。加えて、東日本大震災による遺児などにおいては、必要とする教育を受ける機会すら得られない、過酷な環境に置かれているケースも少なくありません。本来、学習の機会はずべての人に平等であるべきで、生まれてきた家庭環境に無関係かつ公平であるべきと考えています。

仙台先進学習サポートでは、2017年以来、学習環境に恵まれない小中高生をサポートし、彼らが社会において活躍し得る場を見つけれられるよう、学習面より支援しています。



